

# 交通政策審議会 タクシーサービスの将来ビジョン小委員会報告書（概要）

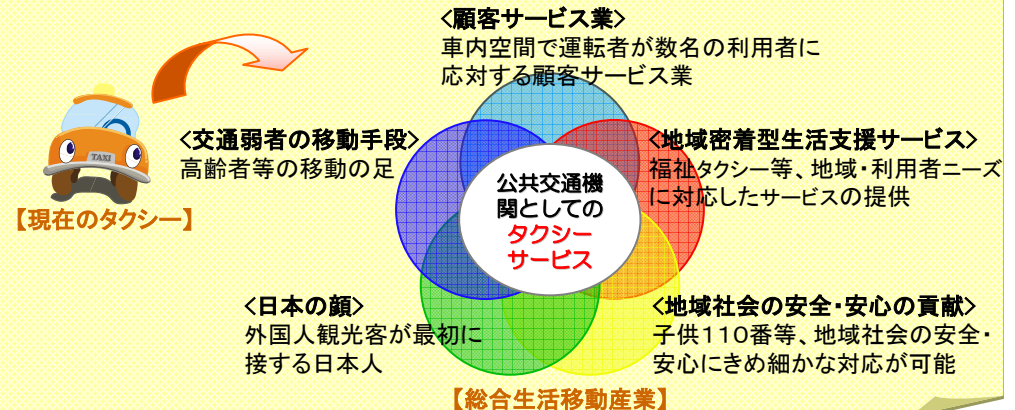
## 「総合生活移動産業」への転換が必要

### 現状認識

タクシーに期待される役割、その社会的重要性は高いものの、マイカーの普及等により、輸送人員が減少し続けており、このままだと産業としての衰退が懸念される。

### 基本方針

公共交通機関としてのタクシーサービスを中心に、多様なニーズにきめ細かく対応し、高い利用者満足(CS)を実現する公共的色彩の強い総合生活移動産業への転換が必要



そのためには・・・

### 〈主な施策案〉

- 公共交通機関としての使命である安全・安心な輸送サービスの提供
  - ・輸送の安全の確保を大前提として、輸送サービスの質の確保・向上
  - ・輸送の安全のより確実な確保
- 多様化・高度化するニーズに対応したサービスの提供促進
- 渋滞・環境問題への対応

#### ○ 輸送の安全及び

##### 運転者の質の確保・向上

- ・運転者の要件の見直し  
二種免許の他、事故歴、講習等の要件化
- ・運転者登録制度の導入  
地理試験の合格等を要件とする運転者登録制度については、現在、東京と大阪のみに導入されているが、輸送の安全と利用者利便の確保・向上の観点から、運転者登録制度のあり方を見直した上で、その導入地域の拡大を図る。

#### ○ 利用者が選択できる環境整備

- ・サービス内容等の情報提供が 1 対 1 作成
- ・事業者・運転者ランク制度の 1 対 1 作成
- ・乗り場の差別化（禁煙乗り場等）

- ・安全マネジメントの導入
- ・運行記録計(タコグラフ)の導入地域の拡大

- ・運行管理制度の徹底、監査の強化、行政処分の厳格化

#### ○ 事業者

- ・顧客ニーズ 順応型サービスの展開
- ・マーケティング分析の向上

#### ○ 行政

- ・事業者の経営努力を後押しする取り組み
- ・地域の実情に応じた仕組みの構築

- ・GPS-AVMシステムの導入促進（配車効率化による空車走行の削減）
- ・乗り場の管理の適正化（駅の入構に関するルール作り等）